

例と訓練

3 ニーファイ 14 章を教えるときに使うことのできる、最初の欄の教義または原則の質問例と文例を研究してください。他の欄に、指定されている節の教義または原則の質問と文を書いてください。

3 ニーファイ 14 : 1 – 6	3 ニーファイ 14 : 7 – 11	3 ニーファイ 14 : 12 – 27
背景と内容を理解する		
<ul style="list-style-type: none"> • 1 節によると、救い主の指示のこの部分を聴いていたのは誰ですか。 • この場合、聴き手を知ることによりどのような違いが生じますか。 • 3 – 5 節によると、救い主はこの比喻の中でどのような事物を用いていますか。その事物はどこにありましたか。 • 救い主はなぜその事物を選んで用いられたのでしょうか。 • その事物のある場所にはどのような重要性がありますか。 		
教義と原則を見つける		
<ul style="list-style-type: none"> • 救い主の比喻からどのような原則を学ぶことができますか。 • 原則—他の人の欠点に目を向けると、自分自身の欠点がよく見えなくなってしまう。 		
教義と原則を理解する		
<ul style="list-style-type: none"> • 他の人の弱さに目を向けることにより、どのように自分自身の欠点を見ることが妨げられるのでしょうか。 		
教義と原則が真実であり重要であることを感じる		
<ul style="list-style-type: none"> • 他の人を不義に裁くことを控えることにより祝福されたのはどのようなときですか。 		
教義と原則を応用する		
<ul style="list-style-type: none"> • 自分自身の目から「はり」を除き、自分の欠点をもっとはっきりと見て、それらを正すために手だてを講じるために、何を変えるとよいでしょうか。 		

